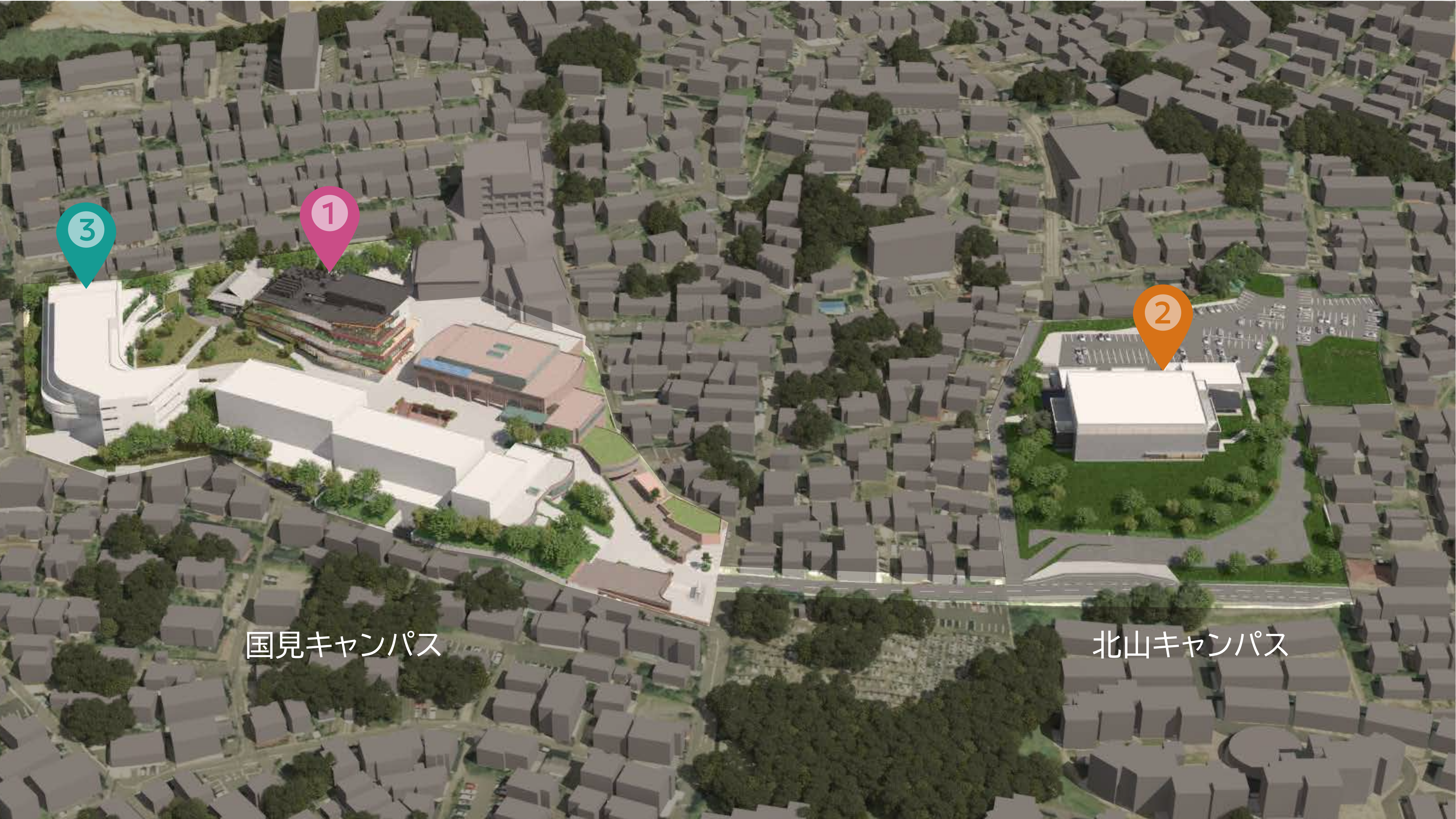


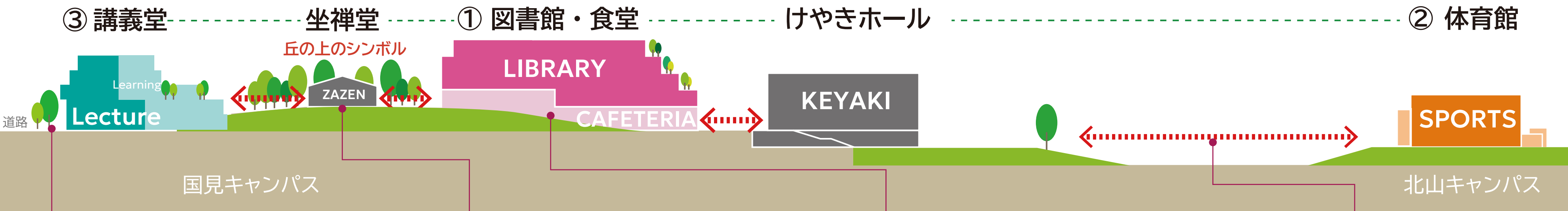
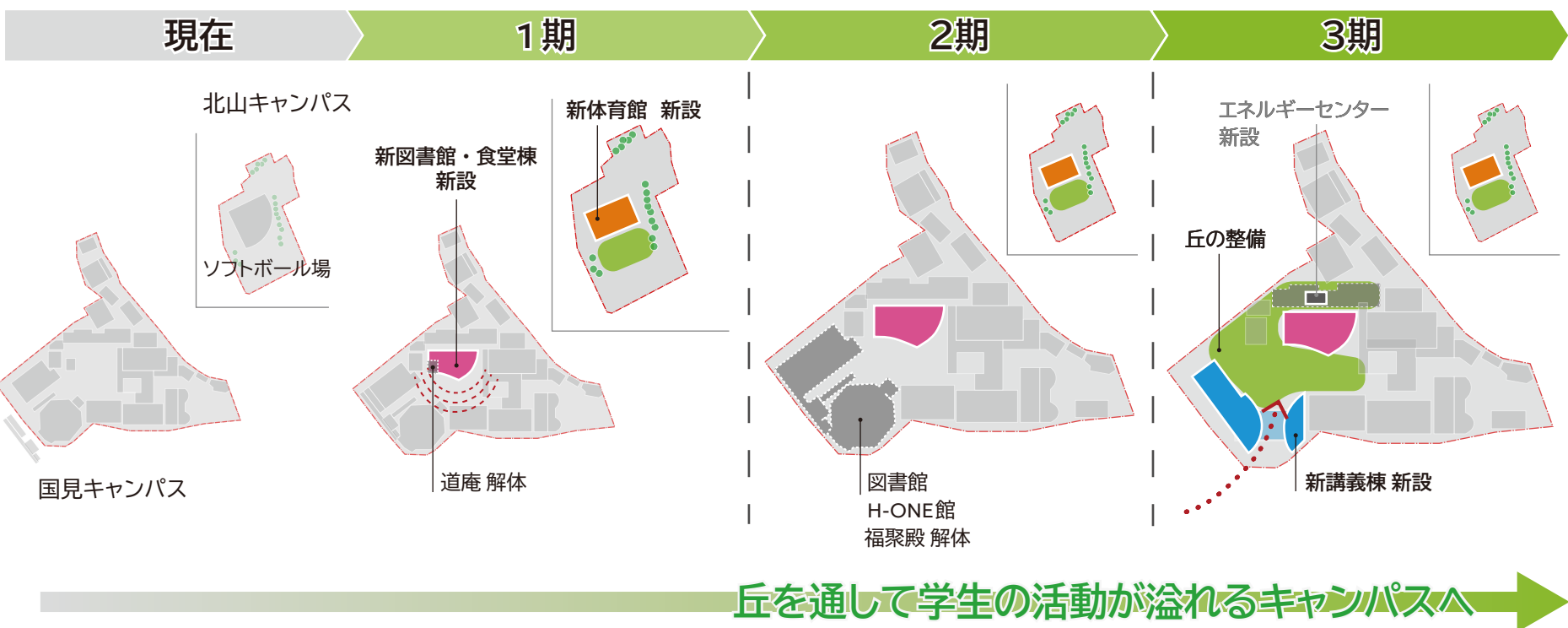
東北福祉大学 国見・北山キャンパス ONE CAMPUS PROJECT



丘と調和するキャンパス計画

複数キャンパスに分散していた全学科をこの丘に集約する将来構想のもと、第1フェーズが始動した。地形条件を活かしながら、「福祉」と「学び」の環境を一体的に再編する計画である。

国見キャンパス中心には学生が集う図書館・食堂棟を整備し、北山キャンパスにはスポーツやサークルなどの多様な活動や外部との交流を受け入れる体育館を新設する。段階的な整備を通じて、丘の環境と調和しながらキャンパス全体の再構築を図る。



大学の新たなエントランス

これまでキャンパスの裏側となっていた学生のメイン動線側に、新たなエントランスを整備する。エントランスを抜けた先には座禅堂を据え、来訪者を迎え入れる構成とした。

※3期

シンボルとして受け継がれる座禅堂

東北福祉大学の象徴である座禅堂を中心に捉え、それを取り囲むように丘のランドスケープを形成する。

座禅堂を中心とした棟間や学生のつながり

丘形状が内部に連続するライブラリー空間

敷地の特徴である丘形状を内部まで連続させ、各フロアがスキップフロアとスロープで螺旋状につながる図書館。フロアをつなげることでバリアフリーにも配慮。

5F Lounge...
4F Library...
3F Library...
2F Cafe Library...
1F Cafeteria...
ひとつながりのスロープ

離れた敷地に建つふたつのキャンパス

学生中心の国見キャンパスと、学外活動や地域貢献にもひらかれた北山キャンパスとして位置づけ、それぞれの役割に応じた使い分けを図る。

北山キャンパス
新体育館
学生動線
国見キャンパス
使い分けが可能